



日本の力を、世界のために。

Supporting Your Global Challenges

石油産業競争力研究会

2018年5月31日

株式会社国際協力銀行 資源ファイナンス部門

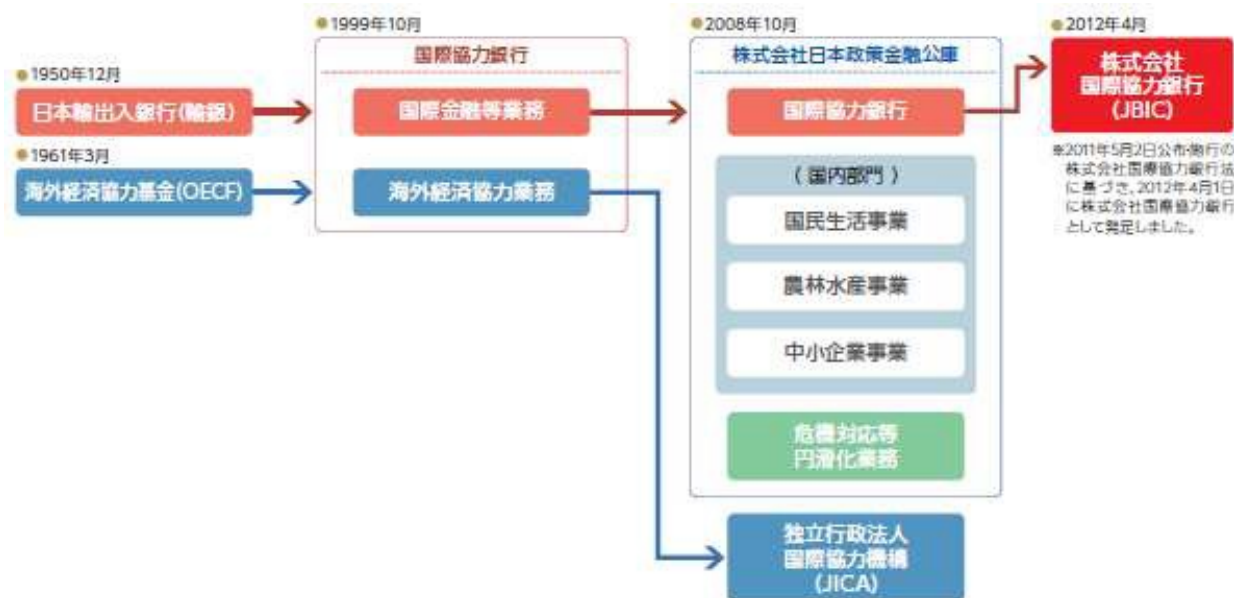
石油・天然ガス部 部長 麻生 憲一

組織概要等

○ 組織概要

- ・ 名称 : 株式会社国際協力銀行／英文名称 : Japan Bank for International Cooperation (JBIC)
- ・ 本店所在地 : 東京都千代田区大手町1丁目4番1号
- ・ 資本金 : 1兆6,830億円（日本政府が全株式を保有）（2017年3月31日現在）
- ・ 出融資残高 : 14兆6,574億円（2017年3月31日現在）
- ・ 保証残高 : 2兆3,850億円（2017年3月31日現在）
- ・ 職員数 : 575人（2017年度予算定員）

○ 沿革



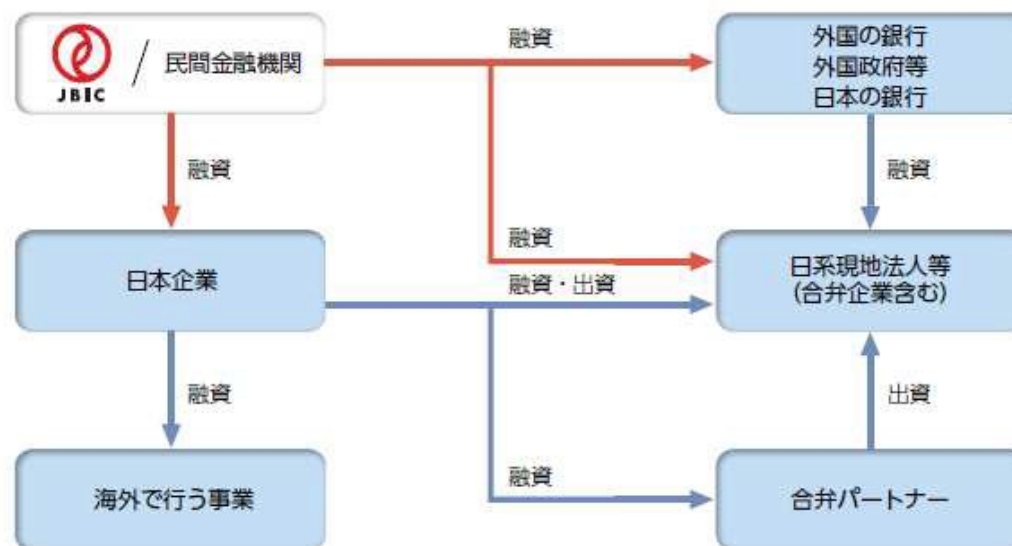
○ 4つのミッション

- 日本にとって重要な資源の海外における開発および取得の促進
- 日本の産業の国際競争力の維持および向上
- 地球温暖化の防止等の地球環境の保全を目的とする海外における事業の促進
- 国際金融秩序の混乱の防止またはその被害への対処

我が国企業の直接投資を支援する金融メニュー

○ 投資金融

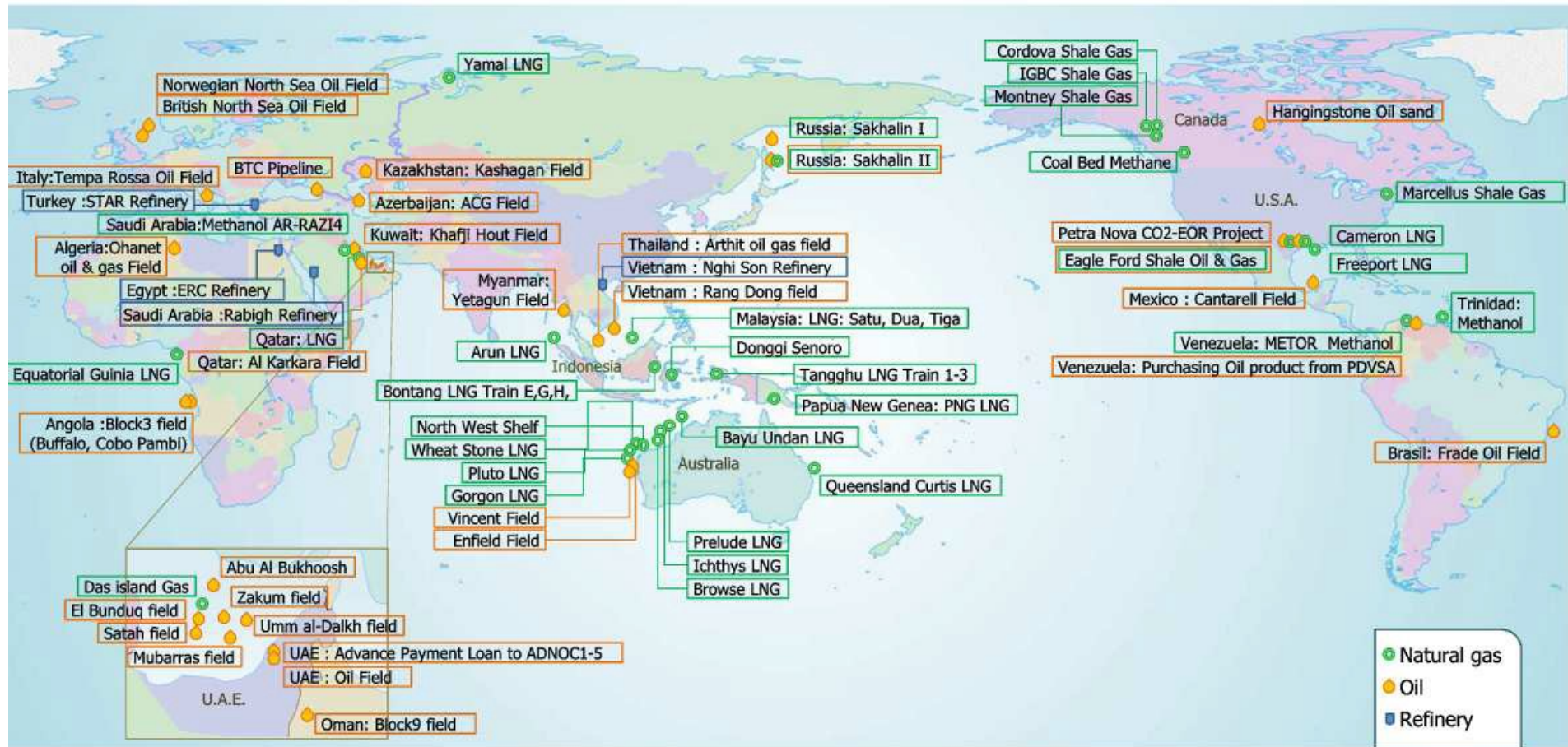
- 日本企業の海外投資事業に対する融資で、日本企業（投資者）に対するもの、日系現地法人（合併企業含む）またはこれに貸付・出資を行う外国の銀行・政府等に対するものあり。



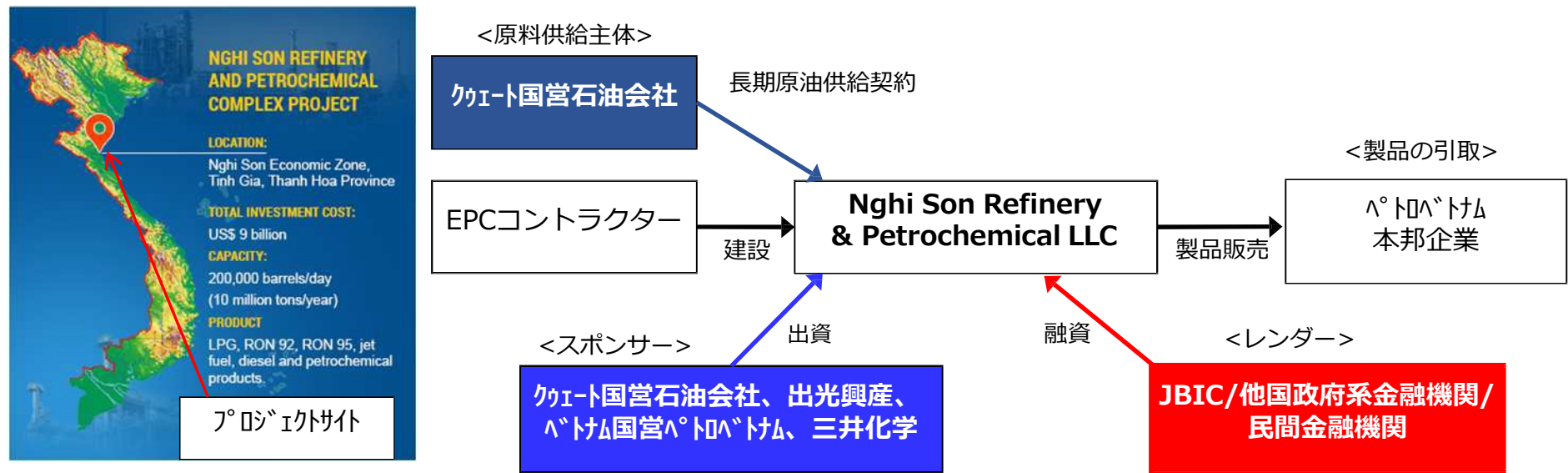
○ 出融資保証実績の推移（承諾額）



これまでの石油・天然ガスプロジェクトに対する主要融資実績



個別融資事例：ベトナム/ニソン製油所・石油化学プロジェクト



プロジェクト概要

内需に対応する製油所が不足するベトナムにおいて、二番目の製油所として、中東産原油を原料に、石油製品・石油化学製品を製造・販売するもの（処理能力：日量20万バレル。ベトナムのマクロ経済にとり外貨節約効果有）。

プロジェクトコスト:92億米ドル

融資金額

協調融資総額：50億米ドル
うちJBIC融資額：16.5億米ドル

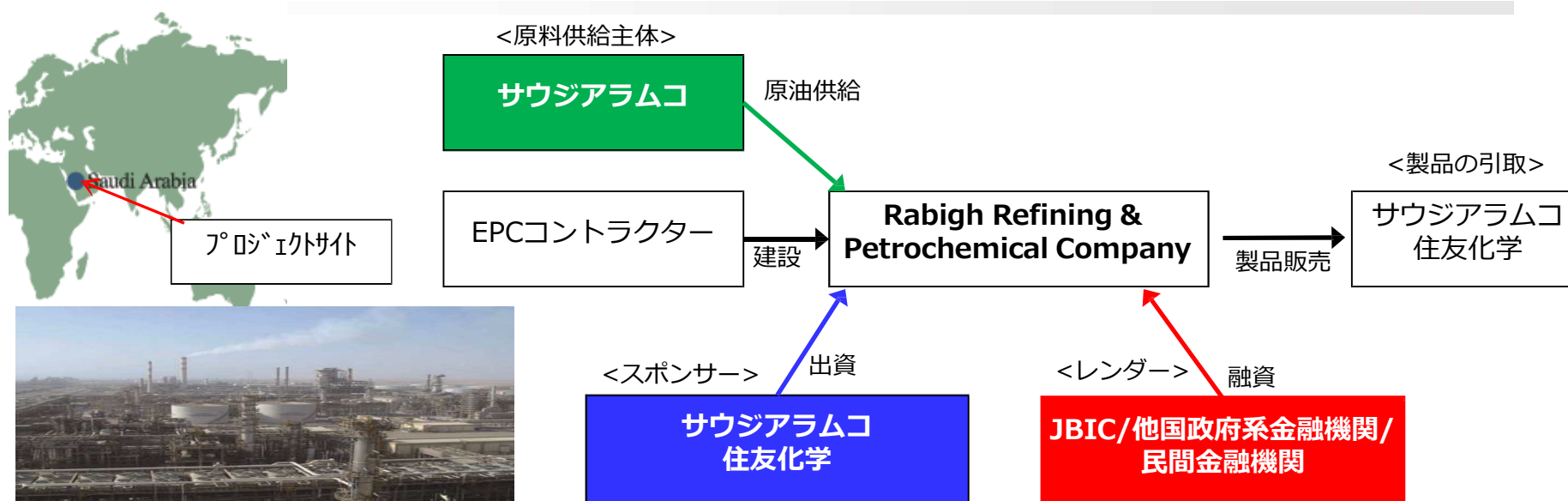
<ポイント>

- 需要の旺盛なベトナムにおいて、豊富な中東産原油を原料に、日本企業の操業能力を以って石油製品・石油化学製品を製造・販売するプロジェクト。
- プロジェクトコストが巨額のところ、プラント完工後はプロジェクトからのキャッシュフローに依拠するファイナンス（所謂プロジェクトファイナンス）を供与。

<日本企業の関与>

- 日本より出光興産が出資参画(35.1%)し、操業に関与（EPCコントラクターにも日本企業の関与有り）。

個別融資事例：サウジアラビア/ラービグ石油精製・石油化学プロジェクト



プロジェクト概要

サウジアラムコから既存の製油所を譲り受けアップグレードを行いつつ、石油化学プラントを新設するもの(Phase1)。また、拡張も実施 (Phase2)

プロジェクトコスト:184億米ドル
(Phase 1と2の合計)

融資金額

協調融資総額：110億米ドル
うちJBIC融資額：45億米ドル
(何れもPhase 1と2の合計)

＜ポイント＞

- サウジアラビアの掲げる、石油化学産業の多角化とこれに伴う同国の雇用創出・外貨獲得促進との政策に沿ったもの。
- プロジェクトコストが巨額のところ、プラント完工後はプロジェクトからのキャッシュフローに依拠するファイナンス（所謂プロジェクトファイナンス）を供与。

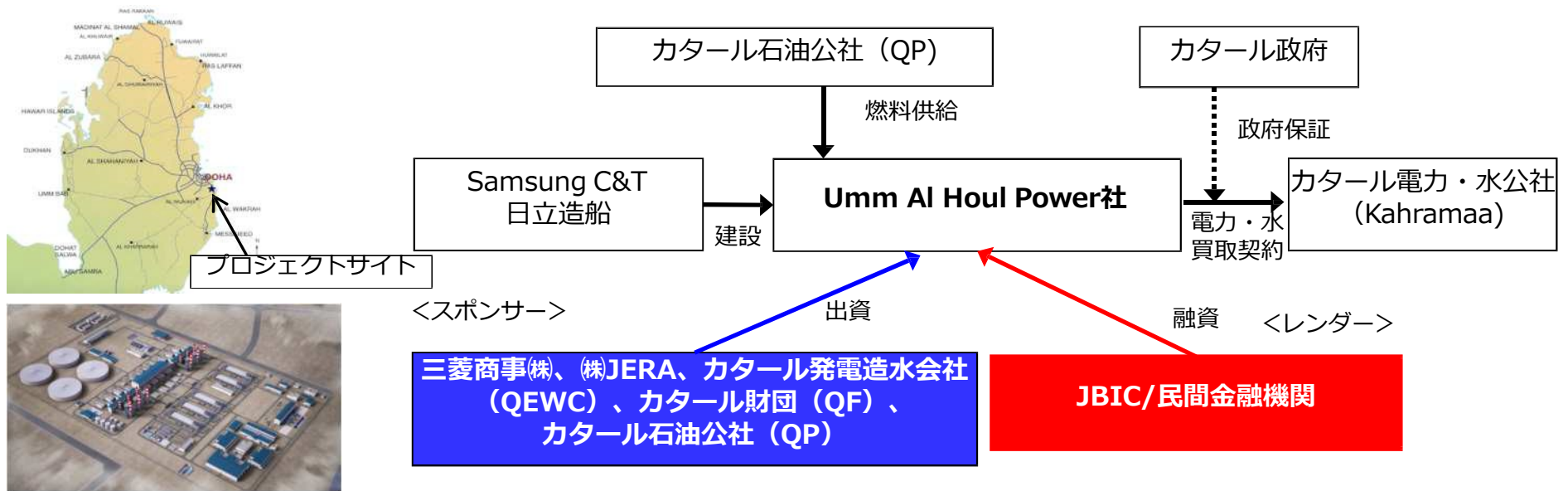
＜日本企業の関与＞

- 日本より住友化学が出資参画(37.5%)し、操業に関与（EPCコントラクターにも日本企業の関与有り）。

海外におけるプロジェクト成功の論点（レンダーの視点から）

- “Win-Win”の関係になっているか（長期安定のコーナーストーン）
- プロジェクトに対する政府の強いコミットメント
- プロジェクト実施国のポリティカルリスク（収容・接収、不利益な法制変更等）
- 合弁パートナーの選択（現地国営石油会社との合弁）
- 競争力のあるプラント建設・完工と安定操業・生産体制
- 十分且つ競争力のある原材料（原油等）の供給体制と販売先の確保
- プロジェクト受入国の環境に対する配慮、現地住民の生活に対する配慮
- 長期安定的な資金調達・ファイナンス

個別融資事例：カタール／Facility D天然ガス火力発電・淡水化事業



プロジェクト概要

カタールの首都ドーハ南方に位置する「Qatar Economic Zone 3」隣接地において、天然ガス焚き複合火力発電・淡水化プラントをBOOT方式で建設・所有・運営し、完工後25年にわたりカタール電力・水公社に電力・水を販売するプロジェクト（発電能力約2,400MW及び淡水化能力約59万立方メートル/日）。

融資金額

協調融資総額：2,538百万米ドル
うちJBIC分：1,269百万米ドル

- カタールでは急激な人口増加と経済発展を背景に、電力・水需要が増加傾向。
- 本プロジェクトは三菱商事(株)・(株)JERAが出資し、操業・保守に主体的に参画して事業運営を行うもの。JBICは、日本政府の「インフラシステム輸出戦略」も踏まえこれら我が国企業の海外展開を支援。
- 日本にとって重要なLNG輸入先国の一つであるカタールとの重層的な経済関係強化にも資する案件。